

思いやり

なかよし週間が昨日から始まりました。大切にしてほしいことは、「みんな好き、みんななかよし」です。今日はお互いが仲よしになるために校長先生が大切だと思えることとお話しします。

みなさんは、「三尺三寸の箸」というお話を知っていますか？「箸」はご飯を食べるときに使う箸ですが、「尺」や「寸」は昔の長さの単位で、三尺三寸はだいたい1メートルです。随分長い箸ですね。実際に三尺三寸の箸を作ってみました。これです。誰か使ってみてほしい人はいますか？

とても食べづらいですね。それでは三尺三寸のお話をします。

ある人が「天国と地獄のちがいは何ですか」と尋ねたのです。するとその人は天国と地獄を見せてもらえることになりました。

最初に見たのは地獄の部屋です。長いテーブルがあり、テーブルの上にはおいしそうなお料理がたくさん並んでいます。そしてたくさんの方がそのまわりに座っています。でも、その人たちはとてもやせていて、元気がありません。イライラして怒っている人もいます。実はきまりがあって、みんな三尺三寸の箸を正しく使って食べなければならないのです。でも、さっきやったように箸があまりにも長すぎて、自分の口まで料理を運ぶことができません。せっかくお料理があるのに、誰も食べることができないので、困ったりイライラしたりしていたのです。これが「地獄」の部屋でした。

次は天国の部屋です。天国の部屋にも長いテーブルの上にごちそうがならんでいました。天国の部屋でも三尺三寸の箸を正しく使って食べなければなりません。地獄の部屋と同じです。でも、そこにいる人たちはみんな元気で、にこにこして幸せそうです。どうしてだと思いませんか？近くの人と話し合ってみてください。

自分の考えを話してくれる人はいますか。

実は、天国の人たちは、長い箸を使って自分で食べるのではなく、長い箸を使って向かいに座っている人に食べさせてあげていたのです。自分が食べたいと思う気持ちがあるのは当然ですが、まず目の前の人のために「どうぞ」と食べさせてあげると、相手も自分に「どうぞ」と食べさせてくれるので、みんながちゃんとおいしく食べられていたのです。これが天国と地獄の違いだったのです。

このように、相手を思う思いやりの気持ちでみんなを幸せにする場面は、皆さんの普段の生活の中にもたくさんあります。

例えば、困っている友達がいたとき、みなさんはどうしますか？自分のことじゃないからいいやと思ってそのままにしますか？それとも「大丈夫？」と声をかけてあげたり、手伝ったりしますか？そのほかにも、相手のためにできる事ってあるでしょうか。

校長先生は朝みんなが玄関で挨拶してくれるのがうれしいです。校長先生が挨拶をすると返してくれるし、自分から挨拶してくれる人も増えました。そうやって挨拶してくれることも、校長先生にとっては思いやりです。

こうした小さな思いやりの積み重ねが、みなさん一人ひとりを温かく包み、皆さんを仲よしにして、手良小学校をやさしくて楽しい学校にしてくれます。校長先生は、皆さんが仲よしになるためには、この思いやりが大切なのではないかと思っています。自分ができる思いやり、他にもないでしょうか。ぜひ考えて、ぜひやってみてください。

これで、校長先生のお話を終わります。